北海道函館五稜郭支援学校

学校だより

第３号

共に歩んだ歴史に「感謝」
令和３年３月閉校

発　行　者
北海道函館五稜郭支援学校
Tel　0138-53-9395
校長　田　近　憲　二
令和２年度　第３号
令和３年３月２日（火）

「ご卒業おめでとうございます。そして、ありがとうございました・・・・」

校長　　田　近　憲　二

本日は、御卒業おめでとうございます。

今年度の卒業生は、函館五稜郭支援学校の最後の入学生でもあり、そして、最後の卒業生でもあります。３年前、本校としての最後の入学式、私自身もこの学校に異動し、校長として最初の式辞を読んだこと、つい最近の出来事かのように思い出されます。

この学年の生徒とは、１年生で行われた「宿泊研修」や、函館山に登った「遠足」、そして、２年生で行った「修学（見学）旅行」など、多くの学校行事でともに行動することも多い学年でした。

ですから、私自身にとっても、生徒とのいろいろな思い出が詰まった学年でもあり、本日の卒業式をもって、それぞれの生徒がこの学校を巣立って行くこと、うれしさがある反面、明日からもう誰も登校してこないかと思うと、本当に寂しい思いがあるのも事実です。でも、卒業生は３年間の学校生活を頑張ったのですから、私自身のそんな寂しい気持ちより、今日の卒業式をもって、それぞれ巣立って行く生徒全員が、これから始まる新たな生活、社会生活の中で、一人一人、精一杯、悔いのない人生を歩んでいってほしいと心から願っていますし、新しい環境の中で、それぞれの個性を活かして活躍していってほしいと思っています。

さて、本校は、３月末をもって、いよいよ閉校となります。昨年１１月７日に、最後の交流祭とともに、閉校記念式典を行いましたが、その時点では、まだまだ閉校までの日は、遠からず近いようには感じていませんでしたが、ついに最後の月、３月を迎えてしまいました。今年度は、新型コロナ感染症の拡がりから、ソーシャルディスタンス、マスク生活、不要不急の外出制限、飲食店の営業自粛なども含め、新しい生活様式の中でいろいろ制限がある１年になるなど、生活様式が一変しました。また学校においても、音楽では合唱や器楽演奏の制限や、体育でも種目活動の制限があったり、そして、臨時休業によるオンライン授業や、各学校行事が中止や延期になったり、ＨＲ活動においても、生徒間の距離を開けたり、また給食などでも、食育の面からもこれまでは、「楽しく食事を」というところから、最近では、「黙食」なる言葉さえ生まれるなど、生徒同士の関係性への制限も多くなるなど学校生活そのものが一変する年ともなりました。閉校前最後の年なのに生徒達にとっては、大変かわいそうな思いをさせてしまった一年にもなってしまったのではないかとも思っています。

その様な中でも、本校の保護者の皆さん方からは、最後まで学校に対し、多大なるご理解とご協力をいただけましたこと、この場をお借りし、お礼申し上げます。本当にありがとうございました。

最後になりますが、本校は、五稜郭養護学校開校から４２年、柏野小、五稜中の分教室として開設されてから含めると６２年間の歴史に幕を下ろすこととなりますが、これまでのご協力に感謝申しあげ、最後の学校だよりの挨拶といたします。長い間、本当にありがとうございました。

後期の様子

職場実習Ⅰ期・Ⅱ期～進路決定を目指して

９月８日（火）～10 月２日（金）の４週間と、11 月 17 日（火）～12 月 11 日（金）の４週間、生徒達は最後の職場実習に臨みました。新型コロナウイルス感染症拡大のため、例年よりも遅い時期での実習で、さらにⅠ期とⅡ期の間が１ヶ月程度しかありませんでした。なかなか時間のゆとりがもてず、悩むこともありましたが、自分の進路選択にしっかりと向き合い、それぞれの力を発揮し頑張っていました。４月からはいよいよ社会人です。これからの生活を有意義なものにしてほしいと思います。

また、職場実習の実施にあたり、たくさんの企業の方々のご理解とご協力を賜りました。感謝申し上げます。お忙しい中、本当にありがとうございました。　（文責:友善　史）

閉校記念　交流祭

令和２年 11 月７日（土）に閉校記念交流祭を行いました。新型コロナウイルスの感染拡大防止ための対策をすること、３年生 12 名の生徒で開催するということで例年とは大幅に内容が変更となりました。しかし、総合的な学習の時間や流通・サービスの学習成果を発表した「学習発表」、音楽で練習を重ねるたびに上達したトーンチャイムや合唱などの「音楽発表」、生徒有志が得意な歌や太鼓、自分で編集した動画などを発表した「レッツゴー五稜郭」など、生徒たちはこの日のために練習や準備をしてきた成果を十分に発揮して会場は大いに盛り上がり、生徒たちにとって思い出に残る行事となったのではないかと思います。たくさんの保護者や卒業生の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。

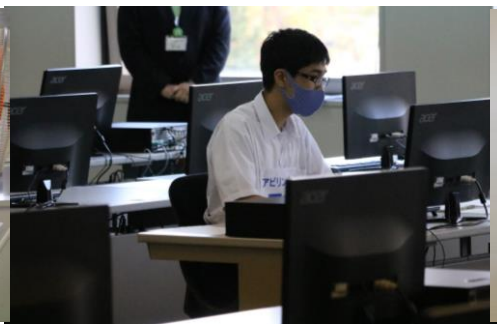
（文責：厚谷　摩紀）

閉校記念交流祭

アビリンピック

北海道大会金賞受賞！

アビリンピック北海道大会（10 月３日）がポリテクセンター北海道（札幌市）にて無観客で開催され、ワードプロセッサ競技に３年女子生徒、ＰＣデータ入力部門に３年男子生徒が本校代表として出場しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をとりながらの練習や職場実習直後の大会に向けて大変さもあったことと思いますが、それぞれ目標をもちながら練習に励むことができました。北海道大会では、感染防止対策や無観客の中で、昨年度の大会とは違った雰囲気に不安を感じながらでしたが、集中を切らさずに最後まで頑張ることができたようです。本校の代表生徒として最後の出場となった北海道大会の結果は、２名とも金賞を受賞できました。おめでとうございます。



第 40 回全国アビリンピック愛知大会出場

昨年度のアビリンピック北海道大会のパソコンデータ入力競技で金賞（最優秀賞）に輝いた３年女子生徒は北海道代表選手として第 40 回アビリンピック全国大会（11 月 13 日～15 日）に出場しました。コロナウイルス感染症拡大防止のため、無観客でライブ配信されることとなった全国大会は無事に開催されました。昨年度に引き続き、愛知県での開催となりますが、生徒とっては初めての全国大会出場で不安と緊張が多かったようです。パソコンデータ入力競技には全国から 35 名の代表選手で競い合いました。練習の時と本会場でキータッチの違いに戸惑いはあったものの、焦る気持ちを抑えながら競技を終えました。本番では練習以上の成果を発揮しましたが、おしくも入賞には届きませんでした。生徒にとってはとても貴重な経験ができた全国大会だったようです。次回の全国アビリンピック東京大会にも北海道代表選手として出場を予定している女子生徒、男子生徒とともに入賞できるよう健闘を祈っています。今大会出場にあたりご協力やご支援をいただいた皆様、ありがとうございました。

（文責:辰野　忠輝）

卒業を祝う会

例年２月に行われるのは予餞会ですが、在籍が３年生だけの本校では、『卒業を祝う会』を実施しました。自分達の卒業を自分達でお祝いしようというものです。１１月に実行委員会を組織して、会の中でやってみたいことを募集したり、係ごとに準備を進めたりしました。当日は、消毒や換気などの新型コロナウイルスの感染拡大防止の対策をとり、太鼓の達人で開幕となりました。午前中はミニゲーム大会やかくれんぼ、ビンゴを楽しみました。午後は、レンタルした本格的な機械でカラオケを行いました。

ミニゲームの一つ、『以心伝心』ではチームワークの良さが試されました。「北海道土産といえば？」とか「流通・サービスといえば？」などの問いに対して、チーム内で同じ答えがあれば得点が入ります。また、無言でイラストを描く「絵しりとり」やカタカナヒントNGの「カタカナ～シ」でも珍回答も飛び出して大いに盛り上がりました。その後のかくれんぼは、校舎内で隠れる事はもちろん、仲間が助けて復活が可能になるルールで、生徒も先生方も童心に返って遊びました。午後のカラオケでは、係の生徒が買ってきてくれたおやつを食べながら、好きな曲を歌ったり、仲間の歌を聴いたりして思い思いに過ごしました。閉会式の最後も太鼓の達人で締めくくられました。自分達で自分達のための会を企画したり、運営したりする経験を通して、達成感を味わうことができました。そして、笑顔がいっぱいの祝う会となり、卒業前に良い思い出ができました。　（文責：山崎　直子）

【速報！】北海道教育実践表彰（学校表彰）を受賞

北海道教育委員会では、道内の学校教育の充実・発展を図るため、昭和45年度（1970年度）から「北海道教育実践表彰」を実施しています。今年度は、1867 校の道内の公立学校の中から、本校を含め９校が令和２年度（2020年度）の被表彰校として発表されました。

本校の１期生から８期生まで受け継がれてきた「流通・サービス」の授業を中心としたキャリア教育や地域に開かれた教育活動の取組が認められ、今回の表彰となりました。

８期生の保護者の皆様にも本校の教育活動に対し、様々な場面でたくさんのご協力をいただけたことが今回の受賞につながっており、心より感謝を申し上げます。

このあと、３月中に表彰状の伝達が行われますが、この賞状は函館高等支援学校内に開設される本校の「メモリアルルーム」に展示いたしますので、お時間がありましたら足をお運びいただければ幸いです。

北海道函館五稜郭支援学校
〒040-0001　北海道函館市五稜郭町39-13
TEL　0138-53-9395　FAX　0138-53-9397
goryoukakushien-z0@hokkaido-c.ed.jp
http://www.goryoukakushien.hokkaido-c.ed.jp/